

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年6月19日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0892100066		
法人名	医療法人 博仁会		
事業所名	小規模多機能ホーム ひたちなか	ユニット名	—
所在地	〒312-0003 茨城県ひたちなか市足崎1474-7		
自己評価作成日	平成25年12月3日	評価結果 市町村受理日	平成26年6月18日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_021_kani=true&amp;JigyosyoCd=0892100066-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=021">http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_021_kani=true&amp;JigyosyoCd=0892100066-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=021</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成26年2月18日	評価機関 決定日	平成26年6月3日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

施設内にリハビリ機能強化型デイを併設しており、PT・OTを常勤で配置している。小規模登録者の方々にもリハビリを実施することでADLの向上を図っている。昨年1年間で、5名の方が小規模登録からデイサービス登録へと移行できた。  
住民参画の一環として、地元自治会に賛助会員として加入し、地域の行事に積極的に参加している。最近では、自治会の方の介護においての困りごと等の相談件数が増えてきている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は、リハビリ機能強化型デイサービスや認知症対応型通所介護事業所と併設しているため、併設する事業所の理学療法士や作業療法士、言語聴覚士と連携を図りながら利用者を支援するとともに、医師に判断を仰ぎながら、併設事業所のリハビリ用機器を利用して利用者の自立に向けた支援をしている。  
施設内にカフェテリアを併設し、利用者や家族等、地域の人々が気軽に利用ができるようになっている。  
事業所は、品質を備えた製品やサービスを届けるための仕組みについて定めた世界共通のISO（国際標準化機構）の認証取得事業所であり、年間教育計画に基づいて職員教育を行い、利用者の満足度の向上や改善に努めている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入り口付近に掲示し、職員間で共有している	理念は全職員で話し合っで作成したもので、地域密着型サービスの意義を踏まえたものとなっている。 理念は誰でも目に付く居間の入口に掲示するとともに、朝礼時や職員会議で唱和して確認し、実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地元自治会の賛助会員として活動しており、地域のお祭りに参加。または事業所のお祭りに自治会の方や高齢者クラブ方々の協力を得られるような関係を構築できている。	事業所は自治会に賛助会員として加入しているが、自治会の要望により、ひたちなか市の自治会対抗運動会に会員として参加している。 地元主催の西原祭りに、職員によるよさこいソーラン踊りで参加し、地域の一員として交流している。 自治会や高齢者クラブとは、事業所の夏祭りの準備に協力が得られるなど、良好な関係を築いている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域向け介護体験教室の開催 認知症作業療法と地域の会を開催		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自治会長、地主、民生委員、家族、地域包括支援センター、法人職員が参加し、意見交換と実際に現場で起きている事例を報告している	運営推進会議は利用者や家族等、市職員、自治会長、民生委員、地主、職員などで2ヶ月に1回開催し、会議録を作成している。 会議では事業所の状況報告や行事報告をするとともに、委員と活発な意見交換を行っている。 委員より「自治会主催の年2回の防災訓練に参加してはどうか」との提案を受け、参加に向けて検討するなど、出た意見等をサービスの質の向上に活かすように努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括ケアシステムの構築に向けて、高齢福祉課の方々と意見交換を実施している	運営推進会議を通じて事業所の運営状況を市担当者に伝えている。 地域の人が「介護等の相談をどこにすればよいのか分からない」とのことにより、地域包括支援センターが主催し、市職員や自治会長、民生委員、高齢者クラブの代表、介護事業者等が勝田第三中学区小地域ケア会議に参加して地域包括ケアシステムの構築に向けて協力して	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	I S O年間教育に乗せ、全職員対象の勉強会を実施	職員は身体拘束排除に関する内部研修を受講し、禁止の対象となる身体拘束の具体的な行為を理解している。 現在、身体拘束は行われていないが、やむを得ず身体拘束を行わなければならない場合に備え、同意書や経過観察記録等の書類を整備している。 玄関は施錠をせず、利用者は自由にリハビリテーションを兼ねて散歩ができる敷地内の庭園にある東屋に出かけている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	実際に虐待の疑いがある利用者に対しては、高齢福祉課、地域包括支援センター、保健師等と連携を取りながら在宅での生活を支えている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を活用している利用者があり、職員との共有を図っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に実施出来ている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	半年に1度家族会を実施し、アンケート調査や家族向けの勉強会を実施している	利用者からは日々の会話や問いかけから、家族等からは電話連絡時に話を聴くほか、連絡帳で意見や要望を確認している。 玄関に意見箱を設置したり、重要事項説明書に第三者機関の苦情相談受付窓口を明記してほかに、年2回の家族会、家族アンケートを実施している。 家族等の要望で車いすへの移乗、移動での注意点等の説明を行っている。 苦情相談受付窓口としての第三者機関の電話番号が未掲載であるのと、家族アンケートでの課題分析等を実施するまでには至っていない。	重要事項説明書での苦情相談受付窓口としての第三者機関の電話番号を明記したり、家族アンケートの課題分析を行うとともに、結果報告をすることを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1度のミーティング及び定期的な職員面談の実施	月1回のミーティングで職員の意見や提案を聞き、出た意見等を運営に反映させている。 管理者は日常の業務の中や休憩時間を利用して職員から話を聞いているほか、6ヶ月毎に職員面談を行い、職員の希望や要望を聞いて運営に反映させている。 職員から「食堂での利用者の席順を変更してはどうか」との提案があり、気の合う利用者同士を隣り合わせにしたら、会話等が弾むようになった。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	准職員から正職員登用の実施		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間教育計画をたてチェックしている。また、積極的に外部研修を受けることにより、スキルアップにつなげている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	管理者が小地域ケア会議のメンバーであり、その中で地域の方々からいざ困った時にどこに相談していいのかわからないといった声が多数あった為、学区内の事業所間交流を開くべきではないかと、発起人となり、開催した		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	計画作成担当者によるモニタリングの実施		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	定期的に家族面談を実施し、ニーズを聞きだしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントをもとに利用者のニーズおよび家族面談を実施し、双方のニーズを満たすようサービスに努めている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員会議等で意識の統一を図っている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族と合同でバーベキューや食事会を実施し、コミュニケーションを図っている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	個別の希望を聞き、その望みを実現できる取り組みを実施している	事業所は年間行事計画に馴染みの場所での花見などを組み入れている。 地主さんから提供を受けたさつま芋で、乾燥いも作りを職員と利用者で行っている。 利用者の送迎時に利用者の希望により以前住んでいた場所を経由するなど、馴染みの食べ物や馴染みの場所の関係が継続出来るよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	登録者の性格等に配慮し、座席や入浴時間等に気を配っている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	実施出来ている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来る限り本人の希望に沿ったサポートを実施している。	職員は利用者との日々の関わり合いや会話を通じて希望や要望を把握し、日誌に記録して職員で共有している。 意思表示の困難な利用者の中には家族等から生活歴を聞いたり、日々の生活の中で利用者の表情や行動を観察したりして思いや意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	支援経過記録に記入		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	リハビリ評価表の活用		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当別にし、セラピスト・計画作成担当者・担当職員によるカンファレンスの実施	介護計画は全職員と併設している他事業所の理学療法士や作業療法士、言語聴覚士でミーティングを行い、支援経過記録を基に課題を把握したり、利用者や家族等の意向を取り入れて作成している。 3ヶ月毎にモニタリングを実施し、3ヶ月もしくは6ヶ月毎に介護計画を見直している。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、随時現状に即した介護計画に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	カルテに記入し、小規模ミーティング内で情報の共有化をはかる		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者の状態に合わせ、小規模多機能から併設のデイサービスへと移行したかたが数名いる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員の方と連携しながら配食や訪問をフルに活用し独居生活を支えている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	必要があれば主治医あてに手紙を書き指示を仰いでいる	契約時に利用者や家族等にかかりつけ医を確認している。 受診は基本的に家族等が付き添うことになっているが、家族等の都合が悪いときには、職員が受診支援を行っている。 受診の際は利用者のバイタル等の情報提供をするとともに、受診結果を家族等から聞いたり、送迎時に家族等に報告したりしているほか、介護記録や申し送りノートに記載して全職員で共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	実施出来ている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には定期的に面会に行きコミュニケーションを図っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約書上にターミナルケアの有無を記載し、家族に了承を頂いている	事業所は重要事項説明書で看取りを行わないことを明記している。 契約時に重度化や終末期に至った場合、事業所はその時々状況に応じた支援や方針を提案することとしており、利用者や家族等に説明して同意を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年間教育計画をたてチェックしている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域と合同避難訓練を現在計画 中。	夜間想定を含めた避難訓練を年2回実施し、議事録に良かった点や反省点を記載している。 緊急時対応方針を作成し、職員に周知している。 自治会より近隣住民を含めた合同避難訓練の実施の提案を受けているが、事業所の都合で実施されるまでには至っていない。 災害時に備えて水や米、レトルト食品等を備蓄しているが、備蓄品リストを作成するまでには至っていない。	近隣住民を含めた自治会との合同避難訓練の実施と備蓄品の数量、期限等を記載した備蓄品リストを作成して管理することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	出来ていない職員に対しては個別に面談を実施し、接遇向上に努めている	管理者や職員は利用者を人生の先輩として尊敬し、利用者に対する呼び方や言葉遣いなどに配慮して一人ひとりの尊厳を大切に考えて支援している。 プライバシー保護や接遇に関する勉強会を行っているほか、利用者や家族等に個人情報の使用目的を説明し、写真の掲示や小規模便り等の広報誌への掲載などについて同意を得ている。 契約書等の個人情報に関する書類は、事務室の施錠ができる書棚で保管し、情報漏洩に留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	登録者に聞き取りを実施し、カラオケに行きたいという意見があればシダックスへ行ったり、ラーメンを食べたいという意見があればあじ平いたり、すしを食べたいという意見があればスシローに行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員ミーティング、朝の引き継ぎ時、ご利用者の状態を把握している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	化粧品やマニキュア等気分転換を図っている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日利用者と職員と一緒に食事をとっている	献立は系列病院の栄養課で作成され、食事等は事業所内の厨房で作っている。 職員は利用者と同じ食事を摂りながら介助をし、楽しい雰囲気ですることができるよう支援している。 雛祭り、クリスマス、正月料理などの行事食を提供し、季節の食事を楽しめるよう支援している。 利用者はできる範囲でテーブル拭きや食器の後片付けをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士や看護師の評価		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	実施出来ている		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	セラピストの協力を仰ぎ体操を実施している	職員は利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、個人のリズムに合わせてトイレ誘導をしている。 利用者の様子を見ながら声かけをし、トイレで排泄ができるよう支援をしている。 併設する事業所の理学療法士、作業療法士による失禁予防体操を取り入れて失禁予防を図り、排泄の自立に向けた支援を行っている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	実施出来ている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	実施出来ている	宿泊利用者の入浴支援は、2日に1回行っている。 利用者の状態に応じてシャワーチェアを配置し、利用者が安心して入浴ができるように支援している。 入浴を拒む利用者には無理強いせず、時間や担当者を替えて声かけを行ったり、シャワー浴や清拭などで対応している。 柚子湯などを取り入れ、利用者が入浴を楽しめるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	実施出来ている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が常勤で2名おり、随時介護職員へ伝えている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	作業療法士と連携しサービスの充実を図っている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎月1度は外出行事を取り入れている。	年間行事計画を作成し、季節毎のお花見や袋田の滝、文化センターの菊花展、大洗のめんたいパークなどに出かけている。 利用者の希望により、日用品や洋服等の購入のため近隣の量販店に買物ツアーに出かけたり、外食ツアーで郊外型レストランでの食事に職員と出かけている。 天気の良い日には、事業所内の散歩ができる庭園にある東屋で、利用者同士でお茶を楽しんだり、園芸を楽しむことができるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	実施出来ている		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事務所の電話を利用頂いている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	実施出来ている	玄関や居間には季節の花や段飾りの雛人形を飾ったり、利用者と職員と一緒に制作した手作りの作品や外出時の写真が飾られ、居心地よく過ごせる場所となっている。 共用空間であるホールにはカラオケが設置されており、職員は利用者が操作してリハビリテーションを兼ねたカラオケを楽しめるよう支援している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	談話室にてカラオケを実施したりしている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	実施出来ている	利用者の泊まりの部屋にはベッドや洗面台、エアコン、時計、ナースコール、整理箆筒が備え付けられている。 管理者は契約時に利用者や家族等に、宿泊する場合には使い慣れた寝具等を持参してもらうよう説明している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	実施出来ている		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名：小規模多機能ホームひたちなか

作成日 平成26年 6月12日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	10	前回の外部評価をもとにアンケートを取り始めたがそれを家族に報告するまでには至っていない	家族満足度の向上	アンケートの課題分析を行うとともに、結果を家族に報告し次につなげる	3カ月
2	33	非常時の備蓄品のリストが作成されていない。 地域とのつながりはできているが、自治会を含めた合同の避難訓練をするまでには至っていない	①リストの作成 ②合同での避難訓練の実施	自治会、会長・副会長に打診し計画を進める	①作成済み ②6か月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。